注目 東京が見える、東京を変える ユニークな新聞だ

都政、都議会がわかる

17議席に躍進した
日本共産党の都議団

東日本大震災後に鋭く問われた東京の防災、深刻な放射能汚染、大きくゆがめられた東京の教育、1メートル1億円の外環道など、都議会の論戦、都政の動きを紹介してきました。

「外環の2」計画を知らなかった石原知事、監修者の了承を得ないで改定した都の歴史授業の参考書など、独自の視点による「スクープ報道」も。

6月の都議選で17議席に倍増し、都政での存在感を強めた日本共産党都議団の活躍を詳報します。

身近な暮しの応援団
市区町村政

編集部なう

「東京民報」は、どのように作られているのか―。港区芝にある編集部をルポした。

編集部はビル5階のフロアーの半分、約56平方メートルの一角にある。7つの机が並ぶが、現在スタッフは荒金編集長のもと記者5人。ほかに紙面をパソコンで作成するDTPの担当が1人、庶務スタッフが2人いる。

こんな零細新聞社だが、記者のひとりは「在京テレビ局や3大新聞と言われる新聞社の記者から時々だけど、掲載記事の問い合わせもある」と、胸をはる。

職員が少ないから、電話が鳴れば手が空いているものが応対する。読者から「国会議員になった吉良さんのコラムを続けてほしい」との要望を直接受けた編集長は、「じゃ、そうしよう」と、即決。9月1日号で実現してしまった。取材要望があれば、記者が直接聞くのだから対応も早い。図らずもミスの指摘をする電話を受けたときには、「耳が痛い」と口をそろえる記者たちだが…。とにかく読者との距離が、めちゃめちゃ近い編集部と言えそうだ。

登場 話題の人

ドラマ「半沢直樹」で話題の作家、池井戸潤さん、俳優の加藤剛さん、故・地井武男さん、歴代最多の幕内勝利数を記録した元・大関魁皇など、各分野で活躍する人々を、独自の視点で紹介してきました。

東京の自然や文化を豊かに伝える特集やコラム、連載も好評です。

東京の自然や文化も紹介

読者の感想より

まず1面、そして4面を読みます。その後、じっくり2、3面へと移ります。通院などの待合室で、また電車のなかで読むのに適しています。（東村山市）

今号は内容が豊富で、とても読み応えがありました。内容も勉強になります。今後も編集に期待しています。（武蔵野市）

「外環道」「原発」など、私が現在関心のあることがたくさん記事になっています。「広がる海の放射能汚染」は魚好きの私にとっては、がく然とするニュースでした。（練馬区）

4面の読みやすい東京民報。1、4面のカラー写真に楽しくなります。4ページの新聞ですが、身近な記事が多くつい時間を忘れて読んでいます。（世田谷区）

まだ東京民報をお読みでない方は、この機会にぜひご購読ください

購読料 都内（配達）月400円　都外（郵送）月600円

●購読申し込み欄

お名前		電話番号	
住　所	〒　　―		

5周年記念　読者紹介キャンペーン・3人紹介で粗品進呈

東京民報社では、再週刊化5周年記念読者紹介キャンペーンを実施中です。まわりの方に東京民報をおすすめください。

●ご紹介者（あなた）様の情報

お名前		電話番号	
住　所	〒　　―		

●ご購読者様の情報

お名前		電話番号	
住　所	〒　　―		
お名前		電話番号	
住　所	〒　　―		
お名前		電話番号	
住　所	〒　　―		

購読いただける方の了解を得てから、ご紹介くださいますようお願いします。

3人の方がご購読に結び付いた場合、粗品をお送りします。　※ご紹介いただいた個人情報は、キャンペーンの目的以外には使用しません。

キリトリ線 ✂ 切り取ってお使いください

東京民報社までファクスにてお送りください　ファクス 03-3798-4032　E-mail tokyominpo@nifty.com　電話 03-3798-4030